


ともにながわ県産木材を育てることはじめ




かながわの 森のカケラ

森のカケラのカスタネットで奏でる
響きとともに、いのちの音が
「森」に「人」に届きますように



「かながわの森のカケラ」は、「ともに生きる」
木づかい連携事業により作成しました。



「森のカケラのカスタネット」は、 神奈川県の森の木で作っています

木のいのちを大切に使う

神奈川県のスギ・ヒノキの間伐材からまだ使える部分を切り取って活用しています。捨てられずに、カスタネットに生まれ変わりました。

「森のカケラのカスタネット」でつながろう

「森のカケラのカスタネット」は私たちと森をつなげてくれるツールです。子どもたちの音楽会で使用したり、かわいくオリジナルデコレーションするなど、楽しく自由な発想で活動に活用してみませんか！



※本事業は、森林環境譲与税を財源としています。森林環境譲与税は、温室効果ガス削減を進めるため、令和元年に創設されました。 ●詳しくはこちら▶ <https://www.forest-environment.jp/>

森のことを知る



地域の森を、あらためてよく見てみると
たくさんの発見があるかもしれません。

リス先生の
Q&A

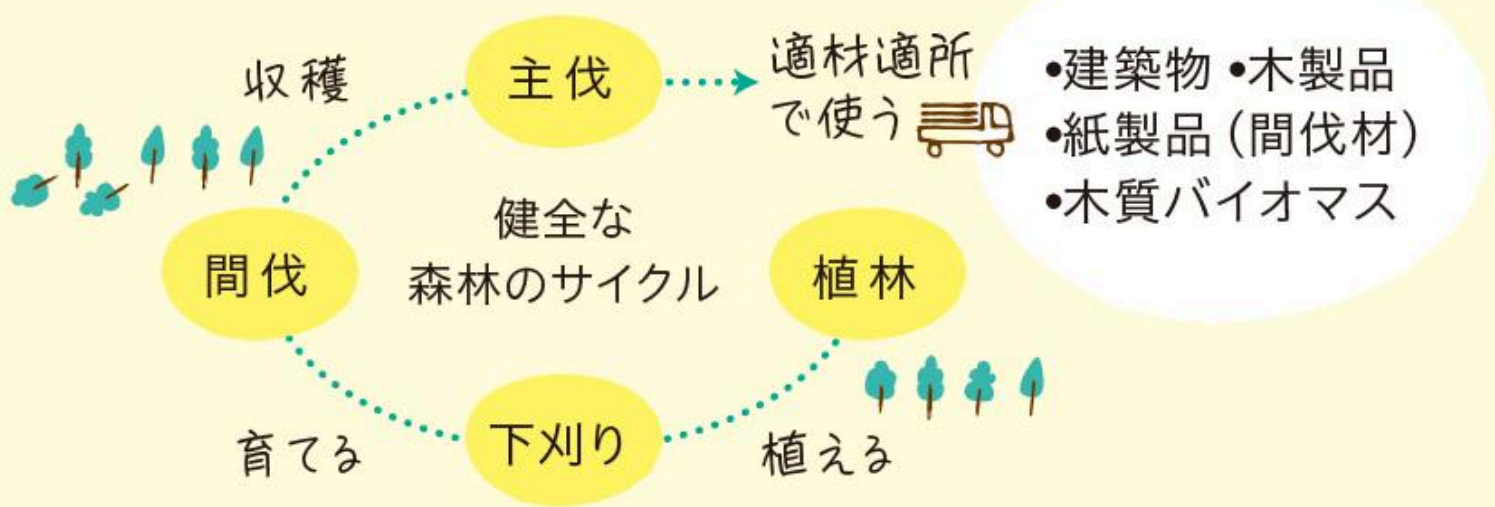


どうしてスギ・ヒノキを間伐するの？

実は、真っ直ぐな良い材木になる木を育てるために、ある程度密集させて植えるんだって。密集して植えて、伸びてきたら何度か間伐して、明るく風通し良くしながら強く太く育てるんだ。

森を守るためにみんなでできることは？

森は、植林→育林→伐採の繰り返しで緑を保っているから、地元の木を積極的に使うことで、神奈川県に緑豊かな森林を残して行くことができるんだよ。



神奈川県の森林整備推進
かながわ木づかい運動

すべてのいのちを大切に
ともに生きる社会かながわ憲章

「かながわの森のカケラ」は、木材関係の団体が集う「かながわ木づかい推進協議会」が、「木づかい運動」と「ともに生きる社会かながわ憲章」の推進に向けた取り組みの一環として、県と連携して行うコミュニケーション活動です。今回は、神奈川県内の木を使い、地元の障害者福祉施設利用者の方にカスタネットを制作していただきました。

あなたの活動レポート
お待ちしております!

ご応募ありがとうございます。
カスタネットを使ったご自身の活動のアイデアやシーンを、下記の事務局オフィシャルサイトへご投稿ください。よろしく願いいたします!



<https://kanagawanomori.com/>

かながわ木づかい推進協議会

事務局：神奈川県 環境農政局 緑政部森林再生課 森林企画グループ